

# 倉八 順子先生

## 1. お話を聞いて、初めて知ったことやわかったことは何でしたか。

- ・立川市が唯一の多文化共生の宣言をしていること
- ・バースデーラインを作った際におっしゃっていた笑顔、優しい心、おもいやりが多文化共生宣言のキーワードだったこと
- ・立川には70以上の国から移民が来ているということ。
- ・日本や立川市には多くの外国人がいて、日本国内では、あまり耳にしない移民が日本にいるということが印象に残った。
- ・何も話さないで誕生日順に並ぶこと。
- ・講演の中で、アンケートを通して自分の外国人の移民に対するイメージと現実との違いに気づくことができたこと。
- ・立川市が多文化共生に積極的に参加していること。
- ・立川市に住んでいる外国人の割合が高く、またたくさん国籍のひとが立川市にいて驚いた。また、アジア出身の方が多いことを知り、英語が第一言語ではないのになぜ選んでくれるのだろうかと思った。
- ・日本にはたくさんの移民がいて、その人たちの活動が私たちの生活に役立っているということ。
- ・立川市に71ヵ国・地域の方々が住んでいること。
- ・約60人に1人(296万人)が外国人だと聞いて驚いた。違う言葉をしゃべり、違う土地で暮らしてきた人との共生のために交換留学等様々な取り組みが行われていること。
- ・日本には、たくさんの外国人が住んでいることに驚きました。彼らが不自由なく暮らせるように、自分にもできないことがないか探してみたいと思いました。また、立川市多文化共生都市宣言が、外国人にわかりやすい易/優しい日本語で書かれているところが素敵だなと思いました。formsを使って、実際にクイズに答えて、考えながら学べて、とても楽しかったです。
- ・日本にいる外国人の出身国の種類がとても多いこと
- ・日本は島国だから特に外国の方とかを受け入れているというような感じはあまりしなかったのだけれど本当に身近な立川でも外国人の受け入れをしていると聞いて他の国の存在が近く感じられたこと。
- ・立川のみが多文化共生都市宣言をしていたこと
- ・立川市は多文化共生都市宣言というものを宣言し、多文化共生社会実現のためにさまざまなことを行っていることがわかった。また、立川市はアメリカに姉妹都市を持っていて、そこで交換留学をしていることに興味を持った。
- ・多文化共生センターでは料理や散歩、伝統的な遊び、話し合い、お祭りなどを行っていること。
- ・立川が、東京の他の市町村に比べて多文化共生に早くから取り組んでいたということ。

## 倉八 順子先生

- ・日本には思っていたよりもたくさんの国からたくさんの外国人が来て住んでいるということ。
- ・日本に外国からの移民がいること。
- ・ボランティアの皆さんが多文化共生に向けてはたらきかけてくださっていること。立川にはたくさんの海外ルーツの人がいること。
- ・クイズに答えていったときに思っていたより立川市の人口が少なかったことが印象に残っています。
- ・立川市だけが多文化共生都市を宣言していること
- ・ビデオで見た交流
- ・色々な国、地域から来た人たちが立川市に住んでいること。
- ・日本に住んでいる外国人はアメリカよりも、アジアの国が多いこと
- ・言語もだけど、笑顔が大事
- ・日本が思ったより多くの移民を受け入れていたことと、様々な国から来ていたことです。
- ・立川で、色々な多文化共生の活動を行っていた事です。
- ・多文化共生都市宣言の「やさしい日本語」は、「優しい」と「易しい」の二つの意味をこめてひらがなになっているということ。
- ・立川市だけの宣言があつてたくさんの方を受け入れているんだと驚いた。
- ・自分が自分の住んでいる地域のこともあまり知らなかったということ。
- ・立川市に多くの国の人が暮らしていること
- ・立川国際も TMC とつながりをかなり持っていたということを知ったこと。

### 2. お話を聞いて、印象に残ったことは何でしたか。

- ・立川には色々な国の人がいること
- ・立川市は他の市に比べて多文化共生にとっても力を入れていたということ
- ・立川が唯一の多文化共生都市宣言をしている市であること
- ・日本へ来る海外の人の出身国はアメリカやヨーロッパ諸国が多いのではないかと予想していたが、アジアからの方がトップ3を占めていることを初めて知り、驚いた。
- ・立川氏だけで70か国以上の人が住んでいるということ。また、全国では中国、韓国、ブラジル、フィリピンの人たちが多くということ。
- ・立川市が多文化共生宣言をしているということを知った。また、立川市には70か国を超える外国人が住んでいることに驚いた。
- ・東京では立川市しか何か?に指定されていないこと。
- ・立川市がこんなにも国際交流に積極的なことがわかり、私たちの知らないところでたくさんイベントや援助サービスがあることを知った。ネパールとの交流の中心的な施設が

## 倉八 順子先生

立川市にあることに驚いた。

- ・立川市にはたくさんの外国人が住んでいるということ。
- ・立川に住んでいる外国人の人数がとても多いということ
- ・先生の団体の存在を初めて知った。
- ・立川市が多文化共生都市宣言という、国際的な取り組みをしていることを初めて知りました。

・自分の地元の立川市が、外国人に対して積極的に援助していることを初めて知りました。

立川市民として、その取り組みをちゃんと知って生活したいです。

・思いやりの大切さ

・1の質問に書いた通り日本は思ったよりも外国の方の受け入れをしていて、しかもアジア系の方が多いというのを初めて知った。(私の想像ではアメリカの方とかが多いのかと思っていました)また、立川でも様々な国際的な理解を深められるようなイベントを子供でも楽しめるような形で執り行っていることを知って私も行ってみたいなど思えるようになった。日本や立川には自分が思ってるよりもたくさんの国籍の方、たくさんの外国の方々がいることを知った。

・日本は「移民」に対する制度はなく、移民に対して欧米諸国よりも消極的であるということがわかった。しかし、「在留外国人」に対する規定はどんどん緩くなっていくことがわかった。

・立川に沢山の国籍の人々が住んでいるということ。

・移民の人達は、ふだん意識していないだけで、意外と自分の近くにもいること。

・多文化共同都市宣言をした市区町村は立川市のみだということ。

・立川市は意外にも、移民がたくさんいること。

・立川市が日本初の多文化共生宣言都市だということ

・立川が多文化共生都市宣言というのをしていたり、70ヶ国以上の外国人が住んでいることを初めて知りました。あまり外国人の方と会う機会がないから気にしたことがなかったけれどこの辺にも沢山住んでいたんだなど驚きました。

・アジア系の外国人が日本に多い

・立川にも沢山の外国の人がいること

・身近な立川市が、唯一の多文化共生都市宣言だということ。

・立川が多文化共生に強いところだとは知らなかった。

・優しい心を持ちコミュニケーションをとることが大事。

・様々な国際的な活動をしていること

・アメリカなどの欧米よりも中国などのアジア系の移民の方が多かったこと。

・立川が、多文化共生都市宣言をしていたことです。

・立川市が、全国で唯一多文化都市宣言をしている市であるということ。

・思った以上に色々な国の方が立川市に住んでいると知った。

## 倉八 順子先生

- ・立川市の人口はもっと多いと思っていたが 18 万人だったということ。そのうち 5000 人程度外国人居住者がいるということ。
- ・立川市が積極的に多文化共生に取り組んでいたこと
- ・立川市は意外と国際活動を行っていること

### 3. 先生に聞いてみたいことはありますか。質問があれば入力してください。 (質問でなく、〇〇についてもっと知りたいです！という内容でも構いません)

- ・その国の言葉が話せない場合どのように交流しているのか知りたい。
- ・何を主にやっているのか。
- ・他の市の取り組みについても知りたいです。
- ・外国の方は日本に来て何が一番したいのかなと思いました！もちろん個人差はあると思いますが日本といえばこれでしょみたいなのがあれば是非知りたいです。
- ・どうすれば海外出身の方ともっと関われるか
- ・他の都道府県で多文化共生都市宣言を出す可能性はあるのか
- ・コロナ禍前はどのような活動をしていたのか気になりました。
- ・立川で行っている多文化共生の活動について、もっと知りたいです。
- ・倉八先生が日本語を教えてきた中で、教えるのが難しかった日本語は何ですか？
- ・翻訳の作業はどうやってやっているのか。(ネットは使う？辞書などを使っているのか?)